

発電と高速クルージングに特化した SPORT HYBRID i-MMDの 「名助演」

低速から高速まで、ほぼ全域の走行をモーターによって行う

SPORT HYBRID i-MMDにおけるエンジンの役割は、

しながら主役のモーターが最大限に力を発揮できるようサポートする「名助演」のようなものです。

このシステムのために新開発した2.0L アトキンソンサイクル DOHC i-VTECエンジンは、

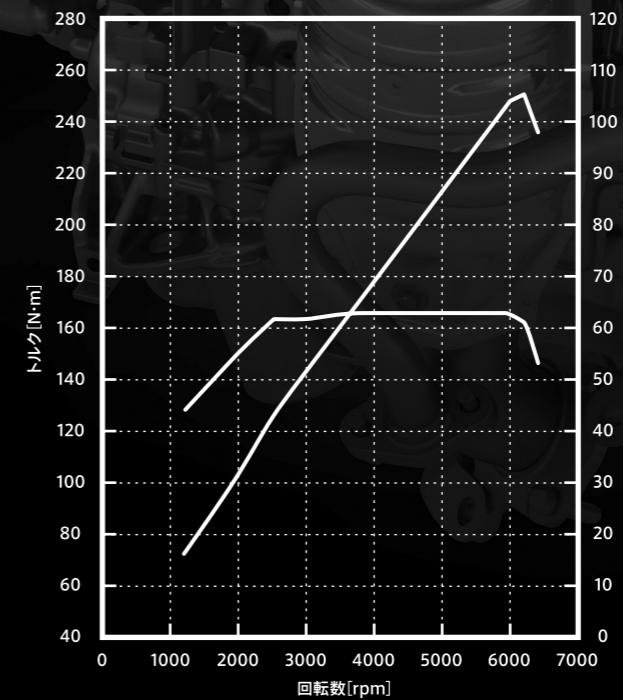
Honda独創のVTEC技術をはじめとした可変技術によって、熱効率に優れる

「アトキンソンサイクル」による低燃費効果を最大限まで引き出すと同時に、高出力と高い次元で両立。

ハイブリッドドライブモード時、エンジンドライブモード時ともに、高効率な走行を可能にしています。



■ エンジン性能曲線図



i-VTEC
DOHC

最高出力 **105 kW / 6,200 rpm**

最大トルク **165 N·m / 3,500~6,000 rpm**

排気量 **1,993 cm³**

圧縮比 **13.0**